



Rotary International District 260

Governor's Monthly Letter

NO. 2

昭和56年 7 月15日

District 260 R.I. Governor **NAOICHIRO KATO**

c/o The Tokai Bank, Ltd. 1-7 Honmachi-dori, Okazaki, Aichi, Japan 444 Phone: 0564-24-7585

国際ロータリー第260地区 ガバナー 加藤 直一郎 〒444 岡崎市本町通1丁目7 東海銀行岡崎支店内 Phone 0564-24-7585

R. I. 第260地区内ロータリークラブ会長・幹事殿

**World Understanding & Peace
Through Rotary**

ロータリーを通じて世界理解と平和を

260 District Assembly held in Nagoya City

1981年 地区協議会開催される



ホスト 名古屋守山ロータリークラブ

1981年 国際ロータリー第260区 地区協議会

昭和56年6月21日(日) 9:30 ~ 15:45 本会議場 愛知厚生年金会館大ホール

北野ガバナー挨拶要旨

マッキヤフリーR.I.会長は1968年長野での地区大会に会長代理としてお出で頂いたことがあり、当地区にとって馴染の深い方である。加藤G.E.は温和人柄の方と思っているが、そのポーカフェイスから時にはとつとするような辛辣な警句が飛び出す。R.I.会長のテーマの実践に尽力されるものと思うが、時差ぼけも全くなく、元気にこの席にお顔を見られることは嬉しい限りである。地区協の目的の一つである指導力の開発という点については、ガバナー月信6月15日号に詳しく書いたので熟読してほしい。要するに集団の目標に魅力を持たせ、目標とする事業計画がメンバーの各々に自分で立案したと思わせるように目標とメンバーとの心理的距離をちぢめることである。

加藤ガバナーエレクト挨拶要旨

国際協議会に出席して当260地区が、出席率・R財団寄与率その他あらゆる面で世界のトップにあることを知らされ、歴代ガバナーはじめ地区内会員各位のロータリー運動への熱意と努力を改めて認識した次第である。ことにR財団寄与については世界のベストテンに入る成績であり、肩身の広い思いをした。皆様心からお礼申し上げたい。マッキヤフリーR.I.会長は誠に立派な体格の方で、握手の時は圧倒された。ロータリーの国際性を生かして世界理解を進め、世界平和を推進することに全力をつくすよう要望された。各クラブはこのテーマ実践のために効果の上がるような計画を立ててほしい。ただし、従来の奉仕活動をおろそかにせずあり余る力をもってテーマの実現に努力してほしい。

第1分科会報告

クラブ会長部会

リーダー	ガバナー	北野 幾造 (長野)
アシスタント・リーダー		
	尾張第一分区代理	橋本 義雄 (名古屋守山)
	次期東北信分区代理	宮本 照高 (中野)
アドバイザー		
	ガバナーエレクト	加藤 直一郎 (岡崎南)

概要

北野リーダーの挨拶と各リーダーの紹介、加藤アドバイザーの協力要請と見解発表、国際大会におけるR.I.会長の世界理解と平和に対する非常な熱意をこめてのスピーチについて報告され、この具体的な方法については、各R.C.の計画立案によって実行するよう指示があった。

理解の仕方については、例えば酒飲みの心と飲まない人の心とはお互に中々理解しにくいものであるように一方通行ではいけない。つまり相互理解が大切である。また理解するためには、その対象について深く知ることが大切であるが、知ることについては現実に直面して色々と知識を得なければならない。机上勉強のみでは中々実行できるようなものが出てこない。次に会長の立場からクラブ運営をうまく行くようにするためには、クラブ会員相互の和を保つべきであり、それにはクラブの親睦活動を盛んにすることが役に立つものと思う。続いて北野リーダーからTopは何をなすべきかを、ドラッカーの説を引用して説明があった。



第2分科会報告

クラブ幹事部会

リーダー	地区幹事	鈴木宗太郎 (長野)
アシスタント・リーダー		
東北信分区代理		小平 良雄 (戸倉上山田)
次期三河第一分区代理		永田六兵衛 (新城)
アドバイザー	地区会計長	若麻績好美 (長野)
	次期地区幹事	中村 繁男 (岡崎南)
	次期地区会計長	中根 義雄 (岡崎南)



概要

1) 永田次期三河第一分区代理：会長が主導的立場でクラブを運営するより、幹事が中心になり、それに会長が乗かっていく方が円満に運営できる。幹事と会長は常にコミュニケーションを計り、定款細則をあまり振回さず、ガバナーの意向、R.I.の規則を中心に運営し、クラブ幹事要覧を熟読精通すること。2) 鈴木地区幹事：手続要覧は必要に迫られてから見ればよい。各種記録文書回答の管理など会長を助けて滞りなく行うこと。個性豊かなクラブ運営をしてほしい。3) 中村次期幹事：クラブ奉仕地区委員会の配列は、北野方式、各クラブの慣習のどちらでもよい。出席率～最終例会の出席率は修正せず報告する。(G.M.L.No.3の7頁参照。) R.I.会長テーマを例会のプログラムに組んでほしい。4) 中根次期会計長：R.I.地区関係の各種送金等の迅速的確処理の依頼。5) 加藤G.E.：次年度会長幹事会時のアンケート回答を例に幹事は自信を持って運営に当るように。

第3分科会報告

クラブ奉仕部会

リーダー		
PG・クラブ奉仕委員長		山田市三郎 (名古屋南)
アシスタント・リーダー		
南信第二分区代理		池上 英雄 (辰野)
次期三河第二分区代理		鳥山 幸男 (西尾)
アドバイザー		
	パストガバナー	安野 譲次 (一宮)



概要

職業分類・会員増強・会員選考・及びロータリー情報の各委員会は、特に緊密な協力と相互理解と連絡が必要であるとのアドバイザー意見が出された。

- (1) 職業分類：新しい職業がどんどん増えている。例えば、エレクトロニクス関連産業など、地域をよく調査研究すること。
- (2) 会員増強：極力将来性のある若い会員を増強すること。
- (3) 会員選考：企業の優劣大小よりも人間性豊かな人柄のいい人を優先すべきである。
- (4) クラブ会報：地味な活動であるが、重要なポイントであり、会員の熟読を強力に推し進める。ロータリー情報を伝達するとともに、会員の親睦に大いに役立つ。
- (5) 広報：R.I.も非常に広報を重要視している。ロータリー活動が地域社会に受け入れられるよう報道機関との接触到に努力すること。

本年度より第1・第2・第3委員が設置された。

第4分科会報告

職業奉仕部会

リーダー

P.G.・職業奉仕委員長 田辺 三郎
(常 滑)
アシスタント・リーダー

三河第二分区代理 荻須 文男

次期尾張第一分区代理 山田 昇平
(岡 崎)
(名古屋中)

アドバイザー

パストガバナー 滝沢 卓夫
(松 本)



概要

リーダーから、職業奉仕とは自己の職業に誇りを持ち、お客や従業員等社会に対して日常の責任を果すことだと思って実践をして来られたことや、職業奉仕委員会の役目は、この主旨に基いて各自の職業を通じて職業奉仕を実践してもらうよう指導することだと説明された。

そして昨年同様、处世情報委員会と職業別会議委員会のパネラーによって会は進められた。处世情報委員会では、パネラーから職業奉仕の具体的な実践方法として、「四つのテスト」に照らして職業のあり方や行動が正しいか、「生きざま」を指導することだとの説明があり、处世情報のいろいろな実例について、活発な意見が交換された。

一方、地区特有の活動である職業別会議は、過去8回実施の経験を生かして、本年も2回実施の計画が立てられた。一つは長野県で光学精密機械関係、一つは愛知県で繊維関係について実施の予定で協力を要請された。

第5分科会報告

社会奉仕部会

リーダー

P.G.・社会奉仕委員長 原 享二
(飯 田)
アシスタント・リーダー

尾張第二分区代理 吉田 稔

次期尾張第二分区代理 奥谷 博俊
(大 山)
(尾張旭)

アドバイザー

パストガバナー 近藤友右衛門
(名古屋)



概要

原リーダーの所見：R.C.の奉仕活動も非常に多様化しており、地域社会の本当のコミュニティー・ニーズをつかまえる必要がある。それには自らの足を運び調査立案し、それを遂行すべきであり、本年度の地区重点施策としては、

(1)地域内の身近な環境保全を考える。具体的には、①^{ゴミゼロ}530運動ーゴミを拾う人はゴミを捨てない。ゴミを捨てない運動は全面的な運動への拡大が必要であり、意識革命に努め、市民運動まで拡大することが必要である。②緑化運動ー松喰い虫が松をピンチに追い込んでいる。関心をもって対策を考えて頂きたい。

(2)3H運動の一環として保健の問題を取り上げて考える。具体的には、①身障者対策ー今年は国際障害者年であり、身障者に社会への完全参加と、平等を与える運動に協力すべきである。②老令化対策ー21世紀は高令化社会といわれ、老人に生きがいを与える社会であるように、地区の特異性を考えて立てる。等の意見が述べられた。

第6分科会報告

国際奉仕部会 R 財 団 部 会

リーダー

P.G.・国際奉仕委員長 森 泰樹
(豊橋)

アシスタント・リーダー

三河第一分区代理 内山 照美

次期南信第一分区代理 大宮 貞男

アドバイザー

P.G.・R.財団委員長 鮎谷賢太郎
(名古屋)



概要

森リーダーよりR.I.会長のメッセージの説明：国際理解は個人対個人の理解を深めるのが第一であり、特に海外へ出かける場合のロータリアン同志の接触を希望され、ついでクラブ・地区単位の奉仕を希望する旨述べられた。

つづいてリーダーの司会により、現在地区で行われている国際奉仕の現状について、各パネラーから報告があった。①世界社会奉仕：R.I.に登録されたものをR.C.の組織を通じて行う。②青少年交換：現在募集中。③組み合わせ地区提携：336地区と提携中、3年毎に見直す。④世界親睦。⑤G.S.E.：現在休んでいるが再来年には行いたい等の要旨であった。

ロータリー財団については、鮎谷P.G.よりこのままでは学生の割り当て減の恐れがあるので今一層の寄付を要請され、米山記念奨学会は文部省の行う国の奨学制度に匹敵する人数で、最も特色ある有意義な制度である旨説明があり、財団・米山の優秀R.C.の紹介等が行われた。

第7分科会報告

青少年奉仕部会

リーダー

直前 G・青少年奉仕委員長 川瀬 保
(名古屋南)

アシスタント・リーダー

南信第一分区代理 松沢 恒久

次期南信第二分区代理 山下 喜助

アドバイザー

パストガバナー 佐藤 知雄
(名古屋東)



概要

青少年の健全育成の問題が、近年世界共通の悩みとして大きくその輪がひろがりつつある中で、数年前に社会奉仕委員会の中から独立して青少年奉仕委員会が設けられたことは、ロータリーがその大きな課題に取り組んだ証左である。

青少年奉仕のための活動がいろいろな形でなされている中で、特にI.A.C., R.A.C.の結成およびその育成は、青少年に対し、その実践を通じて奉仕の精神を学び取ることに大いに力あるところである。本年度は津島R.C.がI.A.C., 諏訪R.C.がR.A.C.を結成し、地区のI.A.C.は愛知8, 長野2, R.A.C.は愛知6, 長野4となり、それぞれ10クラブを数えるまでになった。

新たに結成しようとするためのいろいろな問題、最近結成されたクラブからの苦心談等の応答は分科会を意義あらしめた。

つまるところ、会員各自が青少年育成の重要性を知り、I.A.C., R.A.C., に対する認識を一層高めることが、問題解決の鍵であることを強調された。



公式訪問の意義と、その目的

Purpose of Governor's
Official Visits to Clubs

ガバナー 加藤 直一郎

地区ガバナーは地区内クラブを時間をかけて
ていねいに公式訪問する。

その目的は、

- クラブのために自分が直接何かをしてあげるときに必要なことを知っておくため
- ロータリアンのロータリーに対する視野を大きく広げるため
- 事務局にクラブのために仕事をするうえ参考となる資料を提供するため

以上はガバナー必携からの抜粋であるが、公式訪問を三つの部分に分けると、(1)会長・幹事との協議、(2)例会での講演、(3)クラブ協議会、となっている。その性質上当然年度当初に行うことが理想とされている。

公式訪問の日程は費用をなるべくかけない旅行をという考え方で作るよう推奨されている上に、同じ日に二つのロータリークラブで講演をしてはいけないと指示されている。当 260地区には87のクラブがあり、地理的な条件とロータリーの他の行事とのかね合いを考慮して日程をつくってみると、どう組み直しても全日程を終了

するのは1月下旬になる。後半に訪問するクラブの会員諸君には申し訳ないと思うけれど、世界中に余り例のない大地区のこととて悪しからずご諒解頂き度い。

クラブ計画書の委員会の配列については、北野直前G.から懇切丁寧なご指示があったが、当方の指示した作成要領との間に若干の相違があった。北野さんは公式訪問のご経験を通して、クラブ協議会の討議がスムーズにいくように、計画書の委員会の配列を地区のクラブ奉仕委員のグループ順にすべきであると指導された。こうした配列は、各クラブで自主的にして頂いても結構であるが、要はクラブ協議会において、会長の司会が円滑にいくように、しかも時間を無駄にしないような配慮から理屈に合うようになさるべきである。このことは次年度への申し送りとしたい。

7月9日の豊田R.C.訪問から、来年1月27日の碧南R.C.まで、(場合によってはもう少し先まで)長い旅路である。地区内ロータリアン各位のご友情あふれるご協力を切望したい。

Schedule of Official Visits in Aug.

8月公式訪問日程

1 日 (土)	一 宮	1 7 日 (月)	尾 西
3 日 (月)	名 古 屋 東	1 8 日 (火)	岩 倉
4 日 (火)	名古屋名東	1 9 日 (水)	名 古 屋 南
5 日 (水)	名古屋和合	2 0 日 (木)	豊 橋
6 日 (木)	名古屋東南	2 1 日 (金)	尾 張 旭
7 日 (金)	名 古 屋 北	2 5 日 (火)	瀬 戸 北
1 0 日 (月)	名 古 屋 中	2 6 日 (水)	小 牧
1 1 日 (火)	犬 山	2 8 日 (金)	田 原

ガバナー連絡会議に出席して

Reports from Various Meetings

ガバナー連絡会議

東京品川のホテル・パシフィックに、日本の全地区24名の新ガバナーを集めて、7月1日午前10時から開かれた。議長に吉井陸第275地区G、副議長に種田憲次第266地区Gが選出され、ガバナー会議規約、ガバナー会議予算、本年度活動方針、ロータリー日本史(1971~80)委員会からのお願い等について真剣な討議が行われた。

ガバナー・元・次期ガバナー懇談会

7月1日正午、上記のガバナー会議終了後、次年度ガバナーノミニーを含む300名ほどの懇談会が開かれ、席上、ロータリーの現況について説明が行われた。156ヶ国、19,212クラブ、888,500名のロータリアン。P.H.フェローは、54,000名、内日本国内15,073名。ボカ・ラトーン国際協議会参加は52ヶ国、1,217名、サンパウロ世界大会参加は計16,200名、内日本から912名が参加した。岩村博士の世界理解推進賞受賞、向笠廣次君のR.I.会長エレクト選任等、日本のロータリアンにとって意義深い大会となった。

R.I.会長エレクト向笠さんを囲むビア・パーティー、松平R.I.理事のお祝いの言葉に続いて向笠さんの挨拶、東ヶ崎元R.I.会長の音頭で乾杯。向笠さんのご健康とご活躍を祈った。

「ロータリーの友」新旧委員合同会議

7月2日、ホテル・パシフィックで新年度方針「友」目次大綱の説明があった。

「友」は、上野豊PGを委員長とし川崎覚太郎所長以下、編集7名、経理5名によって運営されており、英語版「友」、ロータリー手帳、会員名簿、ダイアリー、カレンダー等を併せて発行している。当地区から特別顧問として安野譲次PG、顧問として北野幾造直前PG、委員として伊藤長一君(名古屋西)をおくっている。

告 白

1982—83年ガバナーノミニー候補の推薦

ガバナーノミニー候補、橋本義雄君(名古屋守山)が健康上のご都合により辞退されましたので、地区ガバナー指名委員会の考慮に入れてほしい人がありましたら、地区ガバナー指名委員会委員長(地区ガバナー)まで提案して下さい。その際は「決議報告書」用紙および「被提案候補者指名証明書」用紙を、ガバナー事務所へ請求して下さい。

なお地区ガバナーの資格条件については、国際ロータリー細則第13条第5節(b)の(1)~(7)の条件をみたすものであることを要します。

また地区ガバナー指名委員会が、ガバナーノミニー候補者の選択を行うにあたっては、提案された氏名に限定されるものではないということをご了承下さい。(R.I.細則第13条第5節(1)参照)

District News 地区ニュース

新年度に入り7月6日(月)名鉄グランドホテルに於て、第1回地区諮問委員会を加藤ガバナー始め13名が参加し、A.M11:00より開催された。引続き12:30より新旧分区代理、並び新旧地区委員長会議も開催され68名が出席した。そのほか青少年奉仕小委員長会議、また第10回ロータリー研究会地区実行委員会も併せて、P.M16:00より開催された。

第1回地区諮問委員会

議題

1. 1980—81年度地区資金会計及び特別会計決算報告承認
2. ガバナー・パストガバナー懇談会並にガバナー連絡会議(7月1日)報告
3. 1981—82年度地区年次大会の件
4. 地区行事予定の件
5. 1983—84年度地区年次大会及び地区協議会候補地の件
6. 1982—83・1983—84年度ガバナーノミニー

候補選出の件

7. 地区拡大増強の件

8. 1981—82年度意義ある業績賞選考委員選定の件

新旧分区代理並びに新旧地区委員長会議

議事

1. ガバナー所信表明
2. 地区委員会予算
3. 地区委員会年度計画
4. 新旧申し送り事項
5. 分区代理への要望事項

第18回 国際ロータリー第260地区 インターアクトクラブ協議会開催

期 日 1981年7月23日(木)～24日(金)
会 場 名古屋商工会議所
名古屋市中区栄二丁目10-19
宿 舎 名古屋観光会館
名古屋市中区栄二丁目12-31

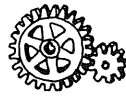
〈主題〉 —奉仕の輪を上げよう—

7月23日	11:00～12:40	登録・昼食
	13:00	開会式
	14:40	全体協議
	15:30～17:30	分科会
	19:00～	夕食・懇親会
7月24日	9:00	特別記念講演
講師	岩村 昇博士	
	神戸大学教授	
	アジア保健研修所理事	
	10:30	総合協議
	11:30	閉会式

お知らせ Information

※直前G.北野幾造君(長野)が「ロータリーの友」委員会顧問にご就任になりました。

※ 国際ロータリー中央事務局 (前号訂正)
The Secretariat of Rotary International
1600 Ridge Avenue, Evanston, Illinois
60201, U. S. A. (6021→60201)
× ○



直前往来

北野直前G.が月信6月15日号にお書きになった「援助とか奉仕とか」は、たまたま前号の当欄と同じ内容のものであった。すでに印刷中で内容を代えることは技術的に不可能であったので、北野さんにお詫びしたところ、「いい内容のものは何度書いてもよいではないか」とのコメントを頂き、いささか気が楽になった。同じ日に同じコラムを読んで、同じことを考えていたロータリアンは日本中に何万人いたことであろうか。「援助と奉仕」の意味について私達はロータリーの立場から大いに思考し討論すべきではないか。

ガバナー事務所から5分ほど歩くと、岡崎公園に入る。徳川家康を生んだ岡崎の城が美しい松の緑の中に小さいけれど清楚な姿を見せてくれる。天守閣入口に家康遺訓を詠んだ石碑が立っている。「人の一生は」ではじまるこの有名な人生訓は最近偽作問題で新聞をにぎやかにしたが、無駄のない名文であることは万人の認めるところ。1960年大津で行われたR.I.第365地区大会で小菅金造P.G.が「ロータリーと家康遺訓」というテーマで講演されたことを覚えているロータリアンはもう数少なくなっている。小菅さんの持論は拡大においてもクラブ運営においても、効を急いではいけない。重荷を負うて遠い道をゆくような気持ちでと説かれた。またガバナー在職中、「及ばざるは過ぎたるより勝れり」という言葉にもっとも勇気づけられたと語っておられる。かえりみて感慨ひとしきりである。(S.N.)

